

## シラバス

|     |    |    |      |
|-----|----|----|------|
| 教科名 | 数学 | 学年 | 2 学年 |
|-----|----|----|------|

|       |   |
|-------|---|
| 目 標   | <p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> |
| 学年の目標 | <p>数学の基礎的・基本的な概念や性質に触れ、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>数学の活動を通して、考察したり、表現したりする力を養う</p>   |

| 月                          | 時数 | 単元名<br>題材名 | 単元目標<br>(観点別の目標)  | 学習内容  | 評価の観点<br>(生徒の達成度を A~D の 4 段階で総合評価)   |
|----------------------------|----|------------|---|---|--|
| 4<br>5<br>6<br>7<br>8<br>9 | 15 | A 数と計算     | <p><b>【知識及び技能】</b></p> <p>・整数、小数の表し方や四則の関係について理解するとともに、計算についての意味や性質について理解し、それらを計算する技能を身に付けるようにする。</p> <p><b>【思考、判断、表現力】</b></p> <p>・数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察するとともに、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現する力を養う。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <p>・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> | <p>①整数、小数の表し方</p> <p>・10倍、100倍、1000倍、<math>1/10</math>、<math>1/100</math>と小数点の移動</p> <p>②整数の加法・減法・乗法・除法</p> <p>・4桁までの加法・減法</p> <p>・九九、3桁までの乗法</p> <p>・3桁までの除法、答えが小数となる除法</p> <p>・金銭</p> <p>③数量の関係を表す式</p> <p>・四則の混合、()のある式の計算</p> <p>・□、△などを用いた式の表現と利用</p> <p>・問題場面からの立式、式の読み取り</p> | <p><b>【知識・技能】</b></p> <p>1段階：整数の乗法の方法を理解することができる。</p> <p>2段階：整数の乗法の方法を理解し、計算することができる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>1段階：10倍等と桁が変わることの関係を考察することができる。</p> <p>2段階：10倍等と桁が変わることの関係を考察し、規則性を見いだすことができる。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <p>1段階：数量について、よりよいものを求めて粘り強く考えることができる。</p> <p>2段階：数量について、よりよいものを求めて粘り強く考え、数学のよさを実感することができる。</p> <p>評価方法：授業プリント、発言・発表、取り組みの様子、感想</p>   |
| 10<br>11                   | 8  | B 図形       | <p><b>【知識及び技能】</b></p> <p>・図形の形や大きさが決まる要素や立体を構成する要素、多角形の性質について理解し、図形を見分ける技能を身に付けるようにする。</p> <p><b>【思考、判断、表現力】</b></p> <p>・図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりする力を養う。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <p>・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>                                   | <p>①平面図形</p> <p>・平行四辺形、ひし形、台形</p> <p>・三角形、四角形などの簡単な性質、対称な図形</p> <p>・円と正多角形</p> <p>②立体図形</p> <p>・立方体、直方体</p> <p>・角柱、円柱</p>   | <p><b>【知識・技能】</b></p> <p>1段階：四角形を見分けることができる。</p> <p>2段階：それぞれの図形の性質を理解することができる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>1段階：図形を見分ける際、適切な性質を根拠として挙げるることができる。</p> <p>2段階：図形を見分ける際、適切な性質を根拠として挙げ、説明することができる。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <p>1段階：図形や数量について、よりよいものを求めて粘り強く考えることができる。</p> <p>2段階：図形や数量について、よりよいものを求めて粘り強く考え、数学のよさを実感することができる。</p> <p>評価方法：授業プリント、発言・発表、取り組みの様子、感想</p> |

|         |   |          |  |   |  |
|---------|---|----------|--|---|--|
| 12<br>1 | 6 | C 変化と関係  | <p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比例の関係や異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方について理解するとともに、目的に応じてある二つの数量の関係と別の二つの数量とを比べたり、表現したりする方法についての技能を身に付けるようにする。</li> </ul> <p><b>【思考、判断、表現力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伴って変わる二つの数量の関係に着目し、その変化や対応の特徴を表を用いて考察したり、異種の二つの量の割合を用いた数量の比べ方を考察したりする力を養う。</li> </ul> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</li> </ul> | <p>①伴って変わる二つの数量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な場合の比例</li> <li>・伴って変わる2つの数を見いだす。(速さ、水の流れる量など)</li> <li>・表や式で変化の特徴を考察する</li> </ul> <p>②異種の二つの量の割合として捉えられる数量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・速さの復習</li> <li>・目的に応じた大きさ比べ、表現方法の考察(時間と距離、人口密度など)</li> <li>・日常生活での割合を伴う2数の比較の仕方、表現</li> </ul> | <p><b>【知識・技能】</b></p> <p>1段階：比例の意味を理解することができる。</p> <p>2段階：比例の関係を表や式で表すことができる。</p>        |
|         |   |          | <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>1段階：伴って変わる2つの数を見いだすことができる。</p> <p>2段階：表や式で変化の特徴を考察することができる。</p>  | <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <p>1段階：数量について、よりよいものを求めて粘り強く考えることができる。</p> <p>2段階：数量について、よりよいものを求めて粘り強く考え、数学のよさを実感することができる。</p>   | <p>評価方法：授業プリント、発言・発表、取り組みの様子、感想</p>  |
| 2<br>3  | 6 | D データの活用 | <p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・測定した結果を平均する方法について理解するとともに、円グラフや帯グラフの問題解決における使い方についての技能を身に付けるようにする。</li> </ul> <p><b>【思考、判断、表現力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して、問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を養う。</li> </ul> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</li> </ul>   | <p>①データの収集とその分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフの意味やそれらの使い方(復習)</li> <li>・データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法、考察</li> </ul> <p>②測定した結果を平均する方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平均の意味や求め方</li> </ul>  | <p><b>【知識・技能】</b></p> <p>1段階：平均の求め方を理解することができる。</p> <p>2段階：平均の求め方を理解し、正確に計算することができる。</p> |
|         |   |          | <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>1段階：データ収集の適切な手法を選択することができる。</p> <p>2段階：目的に即したデータの収集方法を考察することができる。</p>  | <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <p>1段階：データの活用について、よりよいものを求めて粘り強く考えることができる。</p> <p>2段階：データの活用について、よりよいものを求めて粘り強く考え、数学のよさを実感することができる。</p>   | <p>評価方法：授業プリント、発言・発表、取り組みの様子、感想</p>  |